

# ノボル 鋼鉄 宮城の機械加工拠点稼働

## 今期経常益 6割増目指す

特殊鋼流通のノボル

鋼鉄(本社―東京都千代田区、三上隆彦社長)

は、10月に創立70周年を迎えるのを機に、経営基盤を強化する。宮

城県に第2の機械加工拠点が完成し稼働を開始するとともに、熱処理センター(静岡市)

に「ものづくり補助金」を活用した電子顕微鏡を導入、品質管理を徹底する。大阪出張所を

大阪営業所に格上げし、事務所も豊中市に移転。支店間の人事交流を活発化して社員の士気を高め、今期経常利益で前期比6割増を目指す。

ノボル鋼鉄は3月末に宮城県名取市の愛島工業団地に「宮城テクニカルセンター」(宮城TC)を完成させ、5月16日に竣工式を行った。既存のテクニカルセンター(福島県南相馬市、TC)と並行して機械加工設備を拡充したもので、工具鋼の加工体制を強化した。

一次加工をTCで、二次加工を宮城TCで対応する。

宮城TCは1直操業だが、今後の受注次第で2直体制も検討する。「今期は一品一品の加工だけでなく、流れモノにも取り組みたい」(三上社長)としており、量産品の対応に注力する方針。

昨年、精密部品加工を得意とする明星精工を買収した子会社のノボルエンジニアリングは、前期(7カ月決算)売上高が2億1900万円、経常利益が4100万円だった。今期も順調に売上高を伸ばしており年商を3億6000万円に設定。全体需要が低調な中でも経常利益は収支トントンを見込む。

営業基盤強化を目的に進出した大阪営業所は2人から3人に営業人員を増やし、顧客サービスを強化する。三上社長は「全社的に熱処理、機械加工の勉強会を行うなど加工のレベルアップを図り、需要を深堀していく」と創立70周年の節目に飛躍を誓う。

ノボル鋼鉄の2015年6月期は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

経常益45%減

15年6月期

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)

ノボル鋼鉄の2015年6月期単独決算は、売上高が前年同期比1.4%増の61億7200万円、経常利益が45.1%減の9500万円、純利益が90.8%減の1600万円となった。期初計画に対し売上高、経常利益ともに未達だった。純利益は2億3000万円の特別利益に対し、機械加工の新拠点である宮城テクニカルセンター(宮城県名取市)の機械設備、および熱処理センター(静岡市)の真空洗浄機などを全額償却し、建物の特別償却などで3億1000万円の特別損失を計上したため、大幅減益。

宮城テクニカルセンターに4人を新規採用したほか、全社的に合計19人を採用し、人件費も増えた。

今期は売上高63億8000万円、経常利益1億5000万円を目指す。(7面に人事異動)